

1 事業実施の方針

1 学習支援事業

学ぶ機会、安心できる居場所、世代を超えた地域交流の場になること。

新年度は、時給 700 円程度の謝金が支払えるように努めたい。

困窮者支援のパントリー利用者の 1/3 の家庭で子どもたちの不登校が見られる。これらの世帯では、保護者の貧困、障がい、DV、借金などの問題があり、子どもたちが学校に行くまでに家庭に解決すべき課題が見られる。フリースクールに来たくても保護者の健康や生活の問題、送迎に課題があり、解決のためには、訪問による声かけや食料支援、弁護士による借金の整理、公的機関への紹介などソーシャルインクルージョン（社会包括的支援）が必要であることが明確になってきた。子ども総合相談センターや法務局人権相談窓口、松山市自立支援窓口などとの連携を進めているが十分ではない。今後、団体にソーシャルワークを担当できる人材が必要。また、法人として随時アンケート調査を行うなど、大学や各団体との連携を進め、社会的弱者の境遇改善のため調査・研究を行っていききたい。

2 子ども食堂事業

子ども食堂事業は、8 年目に入った。全国子ども食堂支援ネットワークむすびえの調査によると、月に一回でも子ども食堂へ参加する子どもたちは、家庭に居場所がなくても、地域に居場所があり、助けてくれる大人がいると感じ、将来地域活動へ参加したいとの思いを持っているという。子ども食堂は、子どもたちにとっても大人にとってもふれあいのある居場所となっている。昨年度計画より 100～200 名規模から中規模の子ども食堂へ縮小を図り、現状はボランティアを含め 70～100 名規模になっている。キッチン・イベント・会場設営など一度の食堂に多くの要素があり、ボランティア数は、毎回平均 30 名くらいになっている。また、長期休暇中は学生さんの参加も多く、食事や子どもたちの居場所だけでなく、体験や多世代交流、居場所など様々な役割を果たしているといえるが、今後の継続性を考え、規模を小さく中規模の食堂（30～50 名）より家庭的な雰囲気の食堂を目指したい。また、地域の放課後子ども教室、分区教会の子どもたち、ママ食堂、大人食堂など、これまで利用者の固定により利用できなかった方たちの利用も考えたい。また、分区の関係教会への出張子ども食堂を試みたい。

3 困窮者支援パントリー事業（イクソスコミュニティパントリー）

毎月 4 回ほど実施していたパントリーを月一回の一斉パントリーにしたが、固定化により一部の人の当たり前な生活の一部ともなっている。医師やソーシャルワーカーの参加により困窮家庭の問題の解決につなげられるコミュニティパントリーを目指したい。また、公的機関の相談窓口よりの紹介者の利用も増えているが、これらの機関とよりスムーズで明確な連携の形を作っていきたい。新年度は、紹介カードを作成し、各相談窓口配布予定。

4 フードバンク事業

昨年度計画により、えひめフードバンク愛顔（NPO 法人 e ワーク愛媛のフードバンク事業）との区別を明確にするため、イクソスのフードバンク事業は教会こども食堂フードバンク活動からフードバンクまつやまと改名。えひめフードバンク愛顔中予事務局は、フードバンクまつやまの受託とした。今年度は、コカ・コーラなど大量で運搬に負荷がかかるが、多量の添加物により子どもたちの心身に影響のある飲料などの受取を停止する。フードバンクとしては取扱量が減るが、ゆうき生協の提携農家（和田丸）を中心に有機野菜のフードロス削減し、これらを提供できるように体制を整えていきたい。昨年度実施できなかった登録団体への無償提供からイクソス賛助団体に加盟してもらう提供方式に移行する。今年度より農水省がフードバンクの認証制度を開始した。

取扱量 100 トン以上となるため、当法人はこれに該当しないが、今後衛生面やコンプライアンスの整備を進めていきたい。

5 法人

先進的な NPO への見学などを行い、スタッフの学びとしたい。

- ・日本福祉大学主催の伴走型支援士
- ・子どもアドボカシー
- ・食品衛生責任者

の資格をスタッフの希望者は順次取得できるようにしたい。

事業実施に関する項目

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	連携団体	従事者予定	受益対象者	予算額 (千円)
子ども及びその世帯に対する事業	月1の対面食堂（約70名）お弁当配布（約30食）	月1第4金曜	松山市子ども食堂ネットワーク	30名	各1,000名	5,000
子ども及びその世帯に対する事業	学習支援事業（みつはまキッズスクール）	毎週金		5名	60名	500
子ども及びその世帯に対する事業	松山市放課後子ども教室（松山市委託事業）	毎週水	宮前子ども教室	6名	15名	0
フードバンク事業	企業のロスの受け入れ、農家等からの野菜の受け入れ、子ども食堂、福祉団体への食品提供	月4～10回収	えひめフードバンク愛媛、子ども食堂ネットワーク、近隣企業団体4社 松山市の登録福祉団体	回収者2名 計量者4名		2,250
就労支援事業	障害者・ひきこもりなど就労困難な方の社会復帰の場になる	随時	近隣企業、農家	1名		50
自立支援事業	住む場所を失うシングル世帯、非正規雇用者などへのシェルター事業	随時		2名		50
災害による被災者に対する支援活動及び復興事業	フードバンクネットワークを通して食料支援や炊き出しなどの支援を行う	災害発生時		2名		100
社会的弱者の境遇改善のための調査・研究事業	大学などと連携して調査・研究をすすめる	随時		2名		50
高齢者、障がい者、生活困窮者等を日常生活から看取りまで支援する事業	人間らしい最期を迎え別れの時を過ごすため葬儀が出来ない方に対して、本人の希望する宗教で葬儀を行う	随時		1名		500

予算 合計 8,500 千円

3. 助成金事業計画

申請日	助成金事業名	補助金（千円）	進捗状況
2026年3月	ニチレイ 食を通じた居場所づくり	200	審査中 5月末頃
2026年5月	松山市こども食堂支援事業補助金	240	未申請
2026年6月	丸紅基金社会福祉助成金 →こども食堂 食堂改修	2,000	未申請
2026年7月	こども家庭庁 ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業→宅食支援事業	3,000	未申請

事業実施に関する項目

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	連携団体	従事者予定	受益対象者	予算額 (千円)
子ども及びその世帯に対する事業	月1の対面食堂（約70名）お弁当配布（約30食）	月1第4金曜	松山市子ども食堂ネットワーク	30名	各1,000名	5,200
子ども及びその世帯に対する事業	学習支援事業（みつはまキッズスクール）	毎週金		5名	60名	500
子ども及びその世帯に対する事業	松山市放課後子ども教室（松山市委託事業）	毎週水	宮前子ども教室	6名	15名	0
フードバンク事業	企業のロスの受け入れ、農家等からの野菜の受け入れ、子ども食堂、福祉団体への食品提供	月4～10回収	えひめフードバンク愛顔、子ども食堂ネットワーク、近隣企業団体4社 松山市の登録福祉団体	回収者2名 計量者4名		2,300
就労支援事業	障害者・ひきこもりなど就労困難な方の社会復帰の場になる	随時	近隣企業、農家	1名		50
自立支援事業	住む場所を失うシングル世帯、非正規雇用者などへのシェルター事業	随時		2名		50
災害による被災者に対する支援活動及び復興事業	フードバンクネットワークを通して食料支援や炊き出しなどの支援を行う	災害発生時		2名		100
社会的弱者の境遇改善のための調査・研究事業	大学などと連携して調査・研究をすすめる	随時		2名		50
高齢者、障がい者、生活困窮者等を日常生活から看取りまで支援する事業	人間らしい最期を迎え別れの時を過ごすため葬儀が出来ない方に対して、本人の希望する宗教で葬儀を行う	随時		1名		500

予算 合計 8,750千円